

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立勸興小学校  
学力向上担当

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

令和5年4月18日

### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

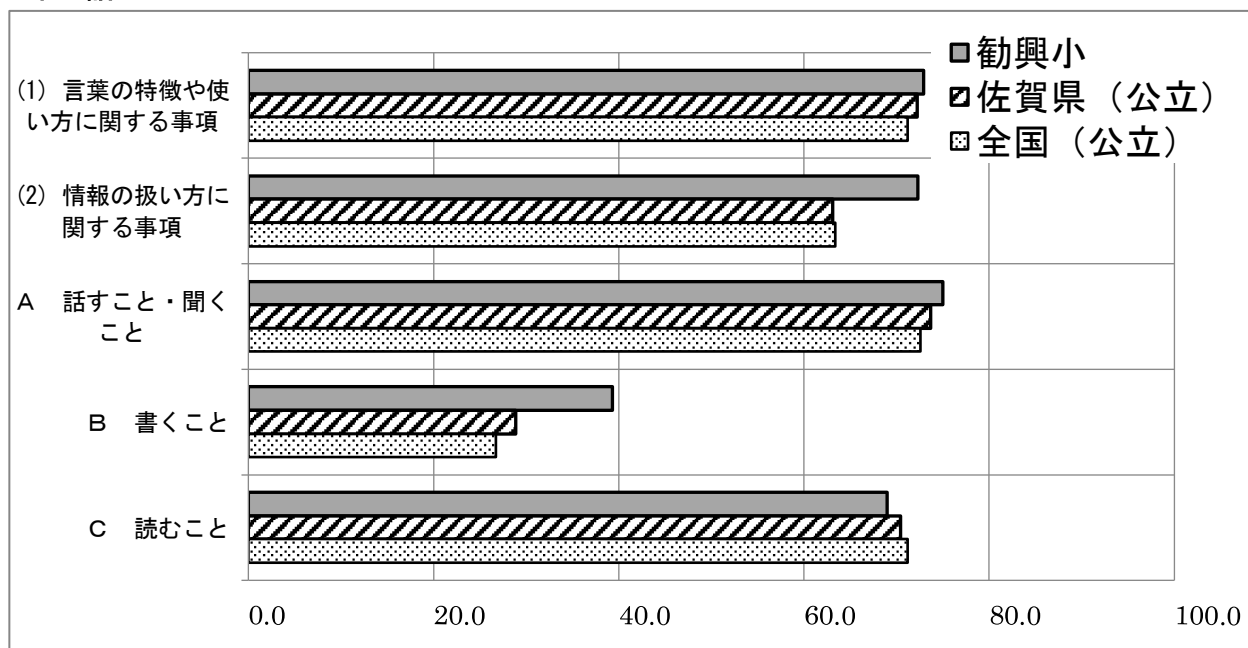
児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面に関する調査 (例) 国語への興味・関心, 授業内容の理解度, 読書時間, 家庭学習の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組, 指導方法の工夫, 学校運営に関する取組, 家庭・地域との連携の状況など

### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語, 算数, (数学, 英語)に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

今回の調査では4つの領域で全国平均を上回っています。特に「書くこと」の領域では、全国平均を12.6ポイント上回っており、図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができています。

一方、「読むこと」の領域では、全国平均を2.2ポイント下回っており、目的を意識して、中心となる文や語句を見付けて要約したり、目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたりする問題では全国平均を下回っています。

#### (2) 学力向上のための取り組み

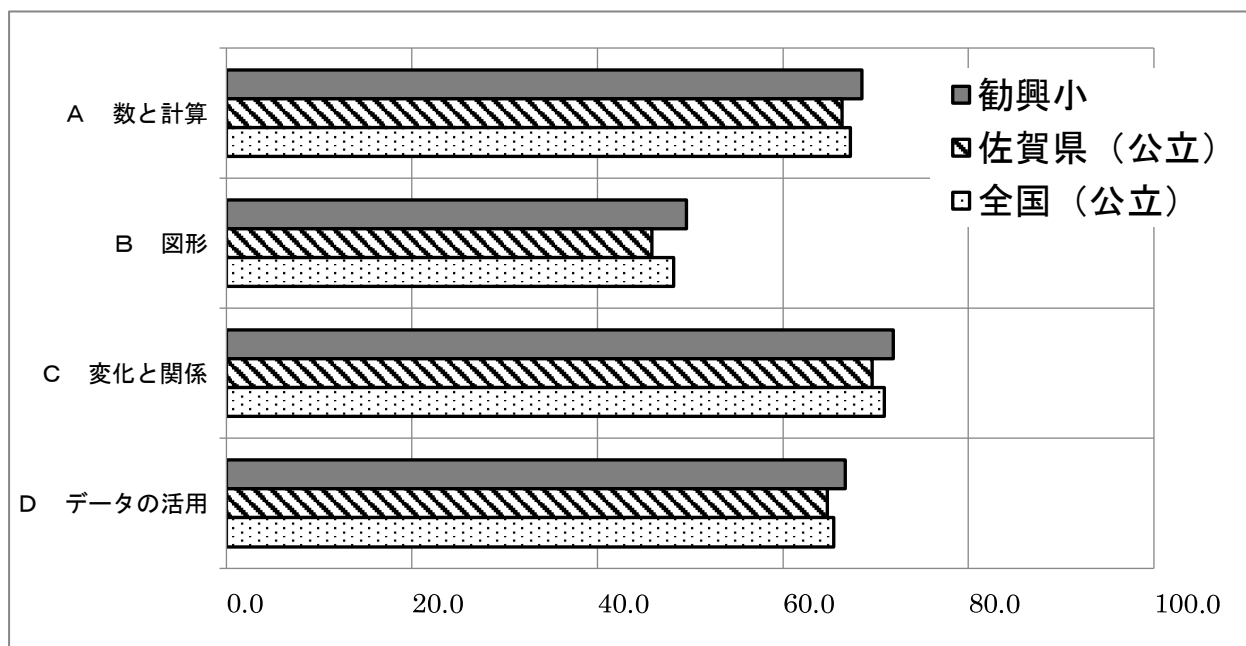
##### 【学校では】

- 具体的思考操作（考える活動）を通して学習活動（言語活動）を実践することで、育てたい資質・能力を育成する学習（3フレーズで創る学習課題）に令和2年度より取り組んでいます。その成果として「書くこと」の領域の問題や記述式の問題の回答率が高くなっています。取組を続けていきます。
- 「読むこと」の領域の力をつけるために、文章のキーワードやキーセンテンスを見つけて、文章に書かれていることの要点をつかんだり、意見と資料を結び付けながら書く活動を大事にする中で、意見とそれを支える資料の関係を捉えたりする授業にしていねいに取り組んでいます。

##### 【ご家庭では】

- お子さんと会話を楽しみましょう。聞くときは最後まできちんと聞き、話すときは語尾まではっきりと話しましょう。テレビや新聞等の情報を家族で共有し、それに対して考えたことや思ったことを伝え合ってみましょう。その際、意見の根拠がどこにあるのか明確にしましょう。
- 自学自習ノートに読んだ本についての感想や要点を書く活動を勧めます。長い文章を書くことも大切な力ですが、決められた文字数で必要なことを書く活動も要点を捉える力をつけるために効果的な学習です。

## 2 算数



### (1) 結果

4つの領域全てで全国平均とほぼ同等の正答率となっています。比例の関係を用いて知りたい数の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する問題や図形の意味や性質について問われる問題では、全国平均と比べて、正答率が高くなっています。

一方、分配法則を用いて答えを求める問題や、高さが等しい三角形について底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題でつまずきが見られます。

### (2) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 数直線や線分図などを用いて、数量の関係を捉えることを大事にしています。子どもたちにとっては手間がかかる作業ですが、数量の関係を正しく捉えることで正しく立式したり、割合を求めたりすることにつながります。
- 毎週月曜日に「チャレンジタイム」を設け、基礎・基本の定着を図っています。学級の算数の力を把握し、必要な補充学習を仕組むことで、知識・技能の力の向上を図ります。

#### 【ご家庭では】

- お子さんが今何を学習しているのか、理解できているのか、つまずきがないか把握するためにドリルやプリント等の宿題・テストに目を通しましょう。その際に、たくさん励ましや称賛の言葉をかけましょう。
- 自学自習ノートで、プリントやテストで間違えた問題に再度チャレンジしたり、様々なパターンの問題に取り組んだりしましょう。